

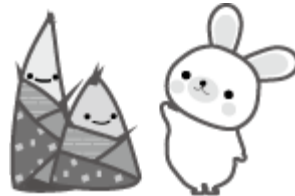


おにぎり通信

2018年5月5日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

ゴールデン・ウィークも明日で終わります。ゴールデン・ウィーク中は役所が休みだったり、病院が休みだったり、仕事がなくなるなどいろいろと不便があったことと思います。福祉行動も7日から行われますのでご利用ください。



☆4月23日(月)の福祉行動報告

ひとりさんか お一人参加されました。(Aさん・60代)

生活保護申請のため、中央福祉事務所に行かれました。

次回の福祉行動：5月7日(月)

東京駅丸の内南口地下に朝8時30分までに集合してください。

車輪の前に「おにぎり通信」を持った者が待機していますので、声をおかけください。

病院に行きたい方や、体を休めたい方と一緒に福祉事務所まで、ボランティアが同行いたします。

福祉行動は原則として毎週月曜日に行います。

福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自分の希望をご自分の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます

最寄りの福祉事務所

中央区福祉事務所・・・中央区築地 1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・・・千代田区九段南1-2-1 3階

たんご せつく 端午の節句

5月5日は、端午の節句です。端午とは、旧暦で午の月は5月にあたり、この午の月の最初の午の日を節句として祝っていたものが、後に、5が重なるこの月の5日が端午の節句の日になったそうです。「端」は物のはし、つまり「始まり」という意味で、元々「端午」は月の始めの午の日のことだったそうです。後に、「午」は「五」に通じることから毎月5日となり、その中でも数字が重なる5月5日を「端午の節句」と呼ぶようになったそうです。

このころは、春から夏への季節の変わり目で、体の調子をくずしやすい時期です。五月病もこの時期の病気です。また、農業との関係では、田植えの前の時期でもあり、健康を気遣い、力をたくわえるための日として祝われてきました。

この時期にたくさん出てくる菖蒲は、薬としての効果があり、血行を良くして、肩こりや神経痛に効くと言われています。そのため、お風呂に入れたり、お酒に入れたり、まぐらのそばに置いたりして、健康を願いました。また、強い香りには邪気をはらう力があるとされ、軒先につるしたりもします。

また、「しょうぶ」という読み方には、武士の心がまえの意味があるため、端午の節句はしだいに、男の子の元気な成長を祝う日となりました。

武士の家に男の子が生まれると、玄関前にかぶとなどを飾ってお祝いしていたものが、現在の五月人形のもとになっています。

このように祝われてきた端午の節句ですが、昭和23年に「こどもの日」と定められ、今では、男の子、女の子両方の成長を祝う日になっています。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。

おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。

受け取るのは、1人1個でお願いいたします。

よつや なかま れんらくさき
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先: 080-7795-8535